

# 上川地域における課題解決に向けた取組

～木質バイオマスの安定供給に向けた取組～

上川南部森林管理署

## 【背景】

- 木質バイオマスのエネルギー利用に大きな注目
- ・エネルギーの域内循環は雇用の創生や地方創生に貢献
  - ・近隣地域において大規模発電施設が稼働開始

## 【目的】

地域の森林・林業の活性化向け上川総合振興局・地元市町村と連携し、木質バイオマスを安定的かつ効率的に供給するための取組を行う。

上川南部森林管理署  
バイオマス検討  
プロジェクトチーム

連携

南富良野地区  
市町村森林整備計画  
実行管理推進チーム

地域における木質チップ原料の安定供給に貢献



## 【これまでの取組】

- これまで利用されずに切捨間伐されていた小径木主体の間伐対象林分において、間伐材を木質バイオマス原料として有効利用することを目的に立木のシステム販売の公募を実施。
- 共同施業団地内において施業の効率化の検討及び分収造林地の間伐材の地元利用を促進。

【国有林材の地域への供給量】  
国有林材の安定供給システム販売  
立木：4,900m<sup>3</sup> 製品：3,000m<sup>3</sup>

## 【平成29年度の主な取組内容・成果】

### ◆システム販売による安定供給

小径木が主体の初回間伐等の対象林分の団地における立木のシステム販売及び製品のシステム販売（原料材）等により国有林から地域に材を供給。

### ◆地域材の利用の実態等を把握

南富良野町内でのチップ生産量の約2割が町内のボイラーの燃料用として利用、約8割が発電、家畜敷料として町外へ出荷されている状況。国有林からはシステム販売（立木・製品とも）により地元へ材を供給したところで、木質チップの生産量が当初の予定より増加。

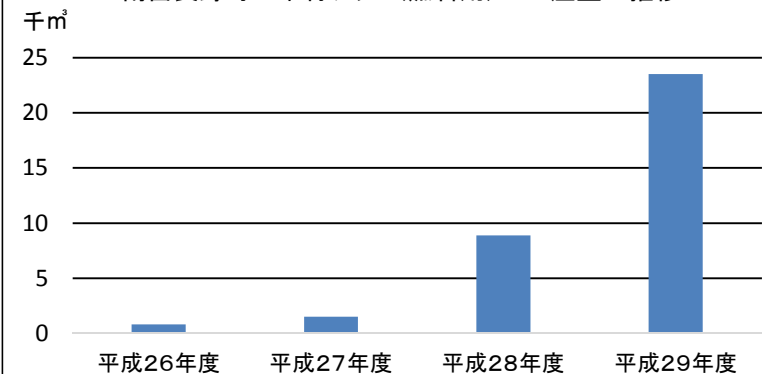
### ◆シンポジウム、現地検討会による普及・啓発

- ・木質バイオマスに関するシンポジウムを地元で開催することで地域創生に向けた取り組みについて地域住民への理解が深められた。
- ・林地未利用材の集荷に関する生産性の調査、効率的な作業システム、低コスト造林に関する現地検討会の実施により関係事業者等へ技術情報を提供。

## 【今後の取組】

今後は、森林共同施業団地において土場や路網を民国で相互利用する等で効率的な林地未利用材の集荷への取組を進めるとともに木質チップの活用等による地域創生について、引き続き地域・関係機関へ普及・啓発を図る。

南富良野町の木材チップ（燃料用）の生産量の推移



(見込み)

